

真鶴半島ジオパーク探索

7月2日(木)に真鶴半島を歩いてきました。これまで神奈川県に居ながら観光地なので、あまり興味がなく行ったことがなかったのです。ここが箱根ジオパークになっており、箱根のカルデラ形成と同じ時期にこの地域で噴出した溶岩で形成されたもので、石材を古くから産出しており、江戸城の石垣にも使われたことを知り歩いてみようと思いたちました。真鶴半島は一枚の硬い安山岩質溶岩から出来ており、波の浸食を受けにくいため、海の中に突き出した半島になっています。観光地として整備されているので、トイレなどの設備は各所にあり、バスも走っています。4時間ぐらいで廻ることができるので、平日にお勧めの散歩コースです。

横浜 8:44 (アクティ熱海行) 真鶴駅 9:44—荒井城公園 10:00—中川一政美術館 11:00—お林遊歩道—番場浦 11:30—ケープ真鶴 (昼食) 12:00—西の浜 13:00—真鶴駅 13:20

潮騒遊歩道は、去年の台風19号で途中が崩れたため現在は立ち入り禁止でした。この日はものすごい西風で三ツ石海岸まで下りるのを止めました。





真鶴半島の尾根道から望む大島、初島



番場浦から伊豆半島を望む 大室山が見える



番場浦歩道から三ツ石



真鶴半島東海岸から丹沢大山



番場浦にそそり立つ安山岩質溶岩



シシドノ窟付近の石切り場 真鶴半島が硬い溶岩質
でできていることがよくわかる